

世界で最も美しい本コンクール・ショートリスト	2
本の学校 春講座2025開催	2
第63回全出版人大会・大会声明	3

## 謝恩価格本フェア 5月14日から開催！



(一社) 日本書籍出版協会  
(小野寺優理事長) は、再販  
制度の弾力運用の一環として、  
「こどもの読書週間」の時期にあわ

せ、5月13日(火) 正午から7月14日(月) までの2か月間  
インターネット限定での第43回「出版社共同企画 謝恩価格  
本フェア」を開催する。今回の参加は122社(予定)、アイテ  
ム数は約5,800点となっている。商品はすべて本体価格の  
45%引きで販売する。

◆公式サイト <https://www.bargainbook.jp>

◆販売サイト <https://books.rakuten.co.jp/event/book/bargain/shaon/>  
(販売サイトは楽天ブックス内に設置。5/13正午からオープン  
する)

今回も注文書籍は楽天ブックスを通して販売する。点数にか  
かわらず送料は無料。代引きの場合は、別途手数料330円  
(税込)、コンビニ店頭支払いの場合は、別途手数料330  
円(税込)があわせて購入者負担となる(クレジットカード決  
済の場合、手数料は無料)。

今回も各種SNSを活用しながら読者に宣伝し、売上向上を  
目指す。以下は各公式SNSのURL。

◆Facebook <http://on.fb.me/1v9yO3Q>

◆X <https://twitter.com/shaonkakaku>

フェアへの参加予定出版社は以下の通り。

明石書店、あかね書房、垂紀書房、朝倉書店、家の光協  
会、岩崎書店、WAVE出版、潮出版社、NHK出版、戎光祥  
出版、エフジー武蔵、オークラ出版、オーム社、海青社、化学  
同人、学芸出版社、Gakken、KADOKAWA、河出書房新  
社、かんき出版、求龍堂、ぎょうせい、京都新聞出版センター、  
金の星社、くもん出版、クリエ関西、芸術新聞社、京阪神エ  
ルマガジン社、研究社、現代書林、現代数学社、建帛社、好

学社、講談社、合同出版、光文社、光明思想社、晃洋書  
房、国土社、子どもの未来社、小峰書店、コロナ社、作品社、  
ザメディアジョン、三省堂、サンライズ出版、シーエムシー出版、  
JTBパブリッシング、リサーチ出版、実教出版、清水書院、集  
英社、出版ワークス、主婦と生活社、主婦の友社、小学館、  
小学館クリエイティブ、裳華房、祥伝社、少年写真新聞社、女  
子パウロ会(聖パウロ女子修道会)、新建新聞社、信山社、新  
星出版社、鈴木出版、スタンダード、青弓社、青幻舎、誠文  
堂新光社、世界文化社、説話社、創元社、大修館書店、大  
日本絵画、大和書房、TAO LAB BOOKS、TAC出版、玉  
川大学出版部、淡交社、筑摩書房、中央経済グループパブ  
リッシング、中央公論新社、中央公論美術出版、鳥影社、汐  
文社、築地書館、TOブックス、ディスカヴァー・トゥエンティワン、  
トゥーヴァージンズ、東京書籍、東京書店、東京堂出版、東京  
美術、東方出版、東洋館出版社、徳間書店、日本ヴォーグ  
社、日本実業出版社、白水社、白泉社、万来舎、PHP研究  
所、美術出版社、フォレスト出版、プチグラブパブリッシング、復刊  
ドットコム、フレーベル館、文一総合出版、文藝春秋、文理、  
平凡社、ベレ出版、法研、法蔵館、法律文化社、ポット出  
版、ポプラ社、光村推古書院、緑書房、山川出版社、吉川  
弘文館、臨川書店

(問合せ 日本書籍出版協会 Tel 03-6273-7061)

## SARTRAS助成事業 2次募集実施のお知らせ

SARTRAS(一社) 授業目的公衆送信補償金等管理  
協会)は2025年度共通目的事業・助成事業の2次募集を  
開始した。

「著作権及び著作隣接権の保護に関する事業」または「著作  
物の創作の振興及び普及に資する事業」に該当する事業であ  
れば、本制度の助成事業の対象となる。

なお、2024年11月1日から2025年1月22日に募集された

1次募集時とは応募様式が変更となっている。

#### 【申請方法】

申請方法は、SARTRASウェブサイト上の「助成事業申請受付フォーム」からのオンライン申請となり、申請様式をダウンロードの上、「2次募集用 共通目的事業・助成事業申請手続きマニュアル」に従い申請する。

#### 【受付期間】

2025年5月7日（水）10時～5月16日（金）17時まで

詳細・申込先：<https://sartras.or.jp/kyotsumokuteki/>

2024年度助成事業一覧（参考）：

[https://sartras.or.jp/wp-content/uploads/kyotsumokuteki\\_joseichiran20240930.pdf](https://sartras.or.jp/wp-content/uploads/kyotsumokuteki_joseichiran20240930.pdf)

（詳細問合せ SARTRAS TEL 03-6381-5026）

## 世界で最も美しい本コンクール

### ショートリストノミネート！

第57回造本装幀コンクール（（一社）日本書籍出版協会・（一社）日本印刷産業連合会主催）の入賞作品「鍵のかかった文芸誌」（出版＝菊池拓哉、装幀＝o-flat inc.、印刷＝藤原印刷、製本＝望月製本所、東京都知事賞・日印産連会長賞ダブル受賞）が、ドイツ・ライブチヒで今年2月に開催された「世界で最も美しい本コンクール2025」（主催＝ドイツ・エディトリアルデザイン財団）でショートリストにノミネートされた。なお、同作品を含む第57回造本装幀コンクールの受賞作品は、同コンクールの公式HPにおいて動画が公開されている。



世界で最も美しい本コンクールは世界でも権威ある国際ブックデザインコンクールで、毎年造本装幀コンクールの入賞作品全点は日本を代表して出品されている。今年は、金の活字賞一点、金賞一点、銀賞二点、銅賞及び栄誉賞各五点が選ばれた。惜しくも受賞は逃したものの、最終選考ともいえるショートリストにノミネートされるのは昨年から2年連続の実績となる。また、今年と同コンクールの審査員に、造本装幀コンクールの審査員であるグラフィック・デザイナーの秋山伸氏が選ばれた（日本人の審査員が選出されるのは、2010年の寺本美奈子氏以来二度目）。

#### ◆第58回応募期間延長（5/10まで）

第58回造本装幀コンクールにおいても、受賞作品は、日本代表として、「世界で最も美しい本コンクール」に出品されるほか、国内・海外の各種展示会でも展示される。また、出品作品は全作品が出版クラブライブラリーにて展示される。

なお、第58回造本装幀コンクールは、作品募集の申込み期限が5月10日まで延長されており、現在も応募可能。

#### ◆募集概要

募集締切：2025年5月10日（土）まで

作品到着：5月15日（木）必着

出品資格：出品書籍の制作にたずさわった者

出品作品：2024年1月1日から2024年12月31日までに初版発行された書籍

出品料：6,050円（税込）／1点（1冊）

詳細：<https://www.jbpa.or.jp/zohon/zohon-ohbo.html>

（問合せ 同事務局 TEL 03-5211-7282）

## 本の学校

### 春講座2025開催

NPO本の学校では、「新たに書店開業を志す人たち」に向けて、経験者によるケーススタディや基礎的な知識を得るための書店開業入門講座を開設し、今年も春講座を開催する。

#### 【第一講座】書店開業してみようだった？ ～高円寺・蟹ボックスの場合～

日時：5月22日（木）19:00～20:30

場所：蟹ボックス（限定10名）＋オンライン配信

講師：花田菜々子（蟹ボックス）

聞き手：和氣正幸（本屋ライター / BOOKSHOP LOVER）

内容：東京・高円寺で「蟹ボックス」を立ち上げた花田菜々子さんに開業までの経緯や苦労を伺う

参加費：蟹ボックス2,200円、オンライン1,100円

詳細・申込先：

[https://www.honnogakko.or.jp/archives/news/haru\\_2025](https://www.honnogakko.or.jp/archives/news/haru_2025)

6月には第二講座（6/7）・第三講座（6/10）が開催される。

（問合せ：本の学校 TEL 0120-479-233）

## 第63回全出版人大会 大会声明

5月7日（水）15時よりホテルニューオータニ東京で行われる全出版人大会において、大会委員長である有斐閣社長の江草貞治氏より大会声明が発表される。

当日は、第一部として、式典、宇野重規氏（政治学者）の講演が行われ、第二部はパーティが行われる。

### 大会声明

日本には現在、約3,000社の出版社と約10,000店に及ぶ書店が存在し、その間を取次会社結び、古書店や図書館も含めて読書環境を支える大きなエコシステムを構成しています。これほど多様な出版社が共存し、生活に根ざした書店が全国に広がっている国は、世界的にみても稀です。空間的な広がりでなくその歴史においても、明治時代以降、近代出版産業は一貫して歩みを止めることなく、世界の知の受容と学問の深化に貢献し、精神文化の発展に長らく寄与してきました。

我が国は今、かつてない人口動態の変化に直面しています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、18歳人口は今後10年で約10%、15年で約25%減少する見通しです。この変化は、社会のあらゆる領域に影響を与えるものであり、出版文化も例外ではありません。若年層の減少は、知の継承と創造のサイクルを支える基盤が危うくなることを意味しています。こうした現実に対し、私たちは単に市場規模の縮小を受け入れるだけにとどまらず、次なる展望を描くべき時に来ています。

2023年、市川沙央さんの芥川賞受賞作『ハンチバック』は、出版文化に新たな問いを投げかけました。「読む」という行為が、視覚や身体を当然のものとする暗黙の了解の上に成り立ってきたことに対し、私たちは深い自省を迫られました。本を手に取り

り、頁をめくること、それ自身が困難な状況に置かれた人々の存在を、長らく視野の外に置いてきたのです。

しかし、新たな技術によって、文字・活字文化をより広く開かれたものに変えていくことが可能です。AIをはじめとした科学技術の進展は、読書を楽しむことに関するあらゆる制約を取り払い、誰もが自由に文字・活字文化にアクセスできる未来を現実のものとしつつあります。音楽や映像が国境を越えて共有されているように、出版もまた、誰にとっても身近で自由なものになることができるはずです。学問とともに歩んできた学術出版も例外ではなく、知を公平に届ける使命をあらためて自覚し、アクセシビリティの向上に率先して取り組む責任があります。今こそ、すべての人に開かれた読書環境の整備に取り組み、国境を越えた、より広大で多様な文字・活字文化を構想する的时候了。

今年は戦後80年、昭和で言えば100年となります。戦時体制と敗戦、復興と高度成長の時代を経て、成熟社会としての新たな段階にある我が国において、私たちがこれまで見過ごしてきた課題がまだ多くあります。その課題の先には、文字・活字文化の大きな可能性が広がっているのではないのでしょうか。私たち出版に携わるすべての者は、文字を通して学び楽しむ文化として何を次世代に伝えていくか、持続可能で開かれた文字・活字文化とはなにか、力を合わせて考えて実行していきましょう。

この決意をもって、大会声明といたします。

2025年5月7日

## 出版統計

書籍	3月期	前年同月比	1~3月期	前年同期比	書籍出回り	3月期	前年同期比	1~3月期	前年同期比	
新刊点数	6,289点	1.4	15,781点	▲ 1.9	推定出回部数	7,978万冊	▲ 5.4	19,348万冊	▲ 7.5	
新刊推定発行部数	2,162万冊	▲ 7.5	5,645万冊	▲ 9.1	推定出回金額	1,085億円	▲ 2.6	2,614億円	▲ 3.7	
新刊平均価格	1,403円	3.3	1,366円	3.6	推定出回平均価格	1,360円	3.0	1,351円	4.1	
新刊推定発行金額	303億円	▲ 4.5	771億円	▲ 5.9	<b>実売部数</b>	3月期	前年同期比	1~3月期	前年同期比	
<b>月刊誌</b>	3月期	前年同月比	1~3月期	前年同期比	書	籍	5,744万冊	▲ 5.7	13,389万冊	▲ 6.4
発行銘柄数	1,666点	▲ 3.9	2,070点	▲ 3.7	月刊誌	4,292万冊	▲ 7.9	9,958万冊	▲ 11.5	
推定発行部数	7,178万冊	▲ 5.5	17,594万冊	▲ 9.6	週刊誌	1,015万冊	▲ 23.0	3,099万冊	▲ 20.0	
平均価格	800円	3.0	803円	4.6	<b>実売金額</b>	3月期	前年同期比	1~3月期	前年同期比	
推定発行金額	574億円	▲ 2.7	1,412億円	▲ 5.5	書	籍	812億円	▲ 2.9	1,870億円	▲ 2.6
<b>週刊誌</b>	3月期	前年同月比	1~3月期	前年同期比	月刊誌	342億円	▲ 5.2	795億円	▲ 7.6	
発行銘柄数	69点	▲ 1.4	71点	▲ 1.4	週刊誌	45億円	▲ 21.1	139億円	▲ 16.9	
推定発行部数	2,323万冊	▲ 4.4	6,371万冊	▲ 10.5	<b>実売金額合計</b>	1,199億円	▲ 4.4	2,804億円	▲ 4.9	
平均価格	454円	3.4	459円	4.1						
推定発行金額	105億円	▲ 1.3	292億円	▲ 6.9						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[ 提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379) ]

## EVENT INFORMATION

### ■自然科学書フェア 2025

期間：5/15(木)～7/6(日)

場所：大垣書店イオンモールKYOTO店(京都市)

内容：理学、工学、農学、医学、家政学の各ジャンルから、出版社お薦めの本を厳選して展示販売。また、【“京都”発】、【AI】、【防災と街づくり】、【万博とテーマ「いのち」】、【量子物理学100周年】、【プラネタリアムと宇宙科学】【“昭和100年”】【希少本とマニアックな本】といったテーマを掲げた、ミニコーナーも展開

### 編集後記



GW期間中、上野の森親子ブックフェスタ、神保町ZINE FAIR、TOKIO ART BOOK FAIRなど様々な本にまつわるイベントがありました。その中でも最近特に注目しているのがZINE！個人や少数で発行する自主的な出版物のことを指しますが、最近では扱っている書店もあり、広がりを見せているようです。SNSなどインターネットが普及した今だからこそ、“ZINE”の、“活字”の魅力が再確認されてきているのでしょうか。(あ)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL：03-6273-7061

FAX：03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp>